

聖書	第二サムエル 11 - 12 章
タイトル	罪を告白したダビデ
教案日付	2015年 6月21日

項目	イラスト	お話し
I	a 	ある日、王様になったダビデがお城の屋上を歩いていると、とても美しい女の人が見えました。ダビデは、その人のことを好きになってしまいました。
	b 	その人はバテ・シェバといい、ウリヤという戦士の奥さんでした。でもダビデは、バテ・シェバとどうしても結婚したかったので、悪いことを考えました。ダビデは部下に命じて、わざとウリヤを戦場の先頭に出し、敵に殺されるように仕向けたのです。
	c 	こうして、ウリヤは死んでしまいました。まもなくダビデは、バテ・シェバと結婚しました。
II	a 	そこで神様は、ナタンという人をダビデのもとに遣わしました。ナタンは言いました。「あるところに、金持ちと貧乏人がおりました。金持ちは、たくさんの羊とヤギを持っていました。でも貧乏人が持っていたのは、たった一匹の雌の子羊だけでした。ある時金持ちは、貧乏人が大切にしていたその子羊を取り上げて、自分の客のために焼いて料理してしまったのです。」
	b 	これを聞いたダビデは、かんかんになって怒りました。「なんだと！そんなことをするやつは死刑にしまえ！！」

項目	イラスト	お話し
Ⅱ c		<p>そこでナタンは言いました。「王様、その金持ちとはあなたのことです！」</p>
Ⅲ a b c		<p>「神様は言われます。『あなたを王様にして、サウルから命を守ってやった。それだけでなく、家も奥さんも、イスラエルのすべての土地もあげたではないか。それなのにあなたは、ウリヤをわざと殺してしまった。』」</p>
		<p>ダビデは、自分が悪かったことを神様にお話しし、心から謝りました。神様は、ダビデの罪を赦してくれましたが、生まれてくる子どもは死ぬと言われました。</p>
		<p>やがて、バテ・シェバは赤ちゃんを生ましましたが、神様の言う通りにその子は死んでしまいました。</p>
結論 (適用)		<p>あなたも罪を犯してしまったら、ダビデのように正直に告白しましょう。神様は、必ずゆるしてくれます。イエスさまは、私たちの罪の身代わりに、十字架にかかってくださいました。罪がゆるされるということは、すばらしい恵みです。イエスさまの愛を信じて、あなたの心の中にある罪を、今すべて告白しましょう。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること